

2021年1月26日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、文化財のデジタルアーカイブデータを活用し、 石屋製菓とコラボした共同商品を販売

第一弾として、葛飾北斎の作品を石屋製菓『恋するチョコレート』のパッケージに起用

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、石屋製菓株式会社(本社:札幌市西区、代表取締役社長:石水 創、以下 石屋製菓)とコラボし、凸版印刷の文化財デジタルアーカイブデータを活用した商品パッケージを開発。このたび、第一弾の商品として、葛飾北斎(かつしかほくさい)の作品をパッケージデザインに起用した「恋するチョコレート キャレ 9 枚入り」全 12 種を 2020 年 12 月 2 日(水)から発売しています。



葛飾北斎作品をパッケージに使用した石屋製菓「恋するチョコレート」

以前より凸版印刷は、多くの文化財を所蔵者である博物館・美術館、寺社などの文化財ホルダーと連携し、印刷テクノロジーを核とした技術で、国内外の貴重な文化財のデジタルアーカイブに取り組んでいます。

「恋するチョコレート キャレ 9 枚入り」は、凸版印刷が東洋古美術の専門美術商である浦上蒼穹堂(うらがみそうきゅうどう)と共同で取り組んでいる葛飾北斎作品におけるデジタルアーカイブのうち、「北斎漫画」「富嶽三十六景」のモチーフをもとにパッケージのデザインをした商品です。

高精細・高画質なデジタルアーカイブデータを用いることにより、美しいパッケージデザインが完成しまし

た。世界的に著名な浮世絵師である葛飾北斎の作品をモチーフに選ぶことで、販売の場を世界市場にも広げることを目指しています。

デジタルアーカイブの成果を、文化財の鑑賞や保存以外だけでなく商品にも展開することで、より多くの人に文化財に触れる機会を創出し、日本美術を広く紹介します。

また、2021年には石屋製菓との葛飾北斎コラボ商品の第二弾も予定されています。

■ 石屋製菓「恋するチョコレート キャレ」について

「恋するチョコレート キャレ」は、白い恋人のチョコレートをアレンジし、北海道サロマ湖水 100%の塩を効かせた、ホワイト、ミルク2種類のチョコレートアソートです。今回は、日本を代表する浮世絵師「葛飾北斎」とISHIYAの「恋するチョコレート」がコラボレーションし、全12種類のパッケージを販売します。今回パッケージデザインに起用した「富嶽三十六景」は、富士山を様々な場面で描いた風景画シリーズで、神奈川冲浪裏、凱風快晴など、保存状態が良い作品を厳選。パッケージデザインも北斎の絵が引き立つようなシックな配色にしています。対して「北斎漫画」3種は、北斎漫画のユニークな「雀踊」の描写に合わせたポップなデザインに。北斎漫画は日本の漫画文化の元祖と言える作品で、マネやモネなどフランスの印象派画家にも多大な影響を与えたと言われています。

■ 『恋するチョコレート キャレ 9枚入り』販売概要

商品名：恋するチョコレート キャレ 9枚入り

(葛飾北斎・富嶽三十六景パッケージ全9種、北斎漫画パッケージ全3種／全12種)

発売開始日：2020年12月2日(水)

価格：1,080円(税込)

賞味期限：製造日から365日

販売店舗：【北海道内】白い恋人パーク ショップ・ピカデリー、札幌大通西4ビルISHIYA ショップ(1F)、ISHIYA CAFE 新千歳空港店

【北海道外】ISHIYA GINZA(イシヤ銀座)、ISHIYA SHINJUKU(イシヤ新宿)、ISHIYA SHINSAIBASHI(イシヤ心齋橋)

【WEB】ISHIYA オンラインショップ <https://www.ishiya-shop.jp/>

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以上